

TQC実践事例

【第14回 全国都市改善改革実践事例発表会 燕市発表事例】

テーマ	燕市8万人総健康づくりにチャレンジ！ -かいた汗は裏切らない!!!-	年度	令和元年度
------------	---------------------------------------	-----------	-------

発表概要

誰でも気軽に健康づくりに取り組むことでポイントが貯まり、ポイントに応じて景品が当たる健康づくりマイストーリー運動「つばめ元気ががやきポイント事業」が始まり6年が経過しています。

その間、試行錯誤しながら改善を重ね、登録者の増加を図ってきた制度の経過を発表しました。

つばめ元気ががやきポイント事業

貯

- ① 毎日：健康づくりの取組（1P）
- ② 参加：健康関連イベント（5P）

使

- ① 年間100名に景品が当選！
- ② 報告者全員に優待カードを進呈！

極

ウォーキングマイスター、レインボー健康体操マイスター、健康ヒーローなど認定や各種表彰

パラエディーに
富んだ全庁的の
50以上の
イベント！

改善内容・成果等

- 1 働き盛り世代の登録拡大を目指し、市内企業の福利厚生部門に掛け合い、社員の健康管理の取組としての導入を働きかけました。
[成果]参加企業等 令和元年度現在 68社
- 2 住民健康診断の各会場で直接市民に登録を呼びかけました。
- 3 保護者の引き込みに向け、小学生に「こども手帳」を導入しました。
[成果]令和元年度では、市内の全小学生(約4,000人)が「夏休みの課題」として、基本的な生活習慣の確立を目的に取り組んでいます。
- 4 参加意欲を高めるため、スポーツ協会と協働で協賛店舗(約120店舗)がお得に使える「優待カード」を報告者全員にプレゼントしています。

【全体の成果】

①登録者数 H26年度：約3,000人⇒R元年度：13,000人

②登録者における60歳以下の割合：

H27年12月末：28.7%⇒R元年12月末：42.7%

